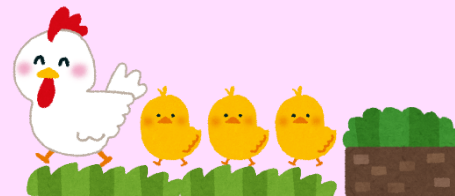


3～4か月児の事故予防



今日から始める事故予防

子どもの死亡原因の多くに「不慮の事故」がありますが、子どもの事故は、年齢別に起こりやすい原因も対策もある程度わかっています。

生まれてから1歳になるまでに、赤ちゃんは大きく成長します。その成長の先回りをして環境を整え、対策をとることで赤ちゃんを事故の危険から守ることができます。普段の生活環境を見直して事故を防止しましょう。

転落・転倒



- ・ベッドやソファにできるだけ寝かせない
- ・ベビーベッドの柵は上げておく
- ・抱っこ紐の使用時に前にかがむ時は、子どもを手で支える
- ・おんぶや抱っこする時は低い姿勢で行う
- ・ベビーカーのベルトは正しくつける

その他の事故



- ・ベビーカーでエスカレーターは利用しない
- ・エレベーターではドアに手を挟まれないように注意する

窒息



- ・できるだけベビーベッドで寝かせる
- ・敷布団やマットレスはかためのものを使用する
- ・掛布団は軽いものを使用する
- ・子どもの近くに口や鼻を覆ったり、首に巻き付くものは置かない
- ・寝かせるときは仰向けに寝かせる

車の事故



- ・必ずチャイルドシートを使用する
- ・子どもだけを車内に置いて出かけない

乳幼児突然死症候群（SIDS）を知っていますか？

何の予兆や既往歴もないまま乳幼児が突然死に至る病気のことです。以下の3つのポイントにより発症率が低くなることが明らかになっています。

- ① 1歳になるまでは、仰向けに寝かせる
- ② できるだけ母乳で育てる
- ③ 保護者、同居家族がたばこをやめる

更に詳しい内容は市ホームページをご覧ください。



問い合わせ先

湯沢市子ども未来課（こども家庭センター）
子ども子育て応援班 ☎ 0183-55-8275